



2020年8月21日

各位

上場会社名 グローム・ホールディングス株式会社
代表者 代表取締役社長 宮下 仁
(JASDAQ・コード 8938)
問合せ先 経営企画管理室 涌井 弘行
(TEL 03-5545-8101)

中期経営計画の修正に関するお知らせ

当社は、2020年7月31日に発表いたしました2021年3月期に係る業績予想の修正に伴い、下記の通り中期経営計画を修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 修正の経緯

この度の中期経営計画の修正は、2020年7月31日に適時開示いたしました『業績予想の修正に関するお知らせ』に基づき、2021年3月期に係る連結売上高の予想を修正したものであります。

当該連結売上高の予想には、2020年5月28日に公表した「中期経営計画策定に関するお知らせ」に記載の通り、不動産の売却による売上高を織り込んでおりませんでした。2021年3月期（当期）第1四半期に不動産の売却による売上高1,215百万円が発生致しましたので、通期の連結売上高予想を同額上方修正致しました。

2. 2021年3月期の連結売上高業績予想等に関する修正

(1) 「1. 今後5か年の中期経営計画」

(2) 中期経営計画の概要・前提条件・背景・今後の見通し・進捗状況

【修正前】

(中略) なお、現在も残る8不動産については今後も売却活動を継続します。当社で保有する「大井複合店舗」や当社連結対象SPCで保有する「LCモール釧路」「留萌ショッピングセンター」「Mikaway 西尾一色店」「DCモール金剛坂」を売却の際には連結の売上高を計上することになりますが、売却のタイミングが見通せないことから、今後の業績予想には織り込みません。売却の都度、適時に開示する予定です。また、病院不動産のオフバランスは計画しません。

【修正後】

(中略) なお、現在も残る8不動産については今後も売却活動を継続します。当社で保有する「大井複合店舗」や当社連結対象SPCで保有する「LCモール釧路」「留萌ショッピングセンター」「Mikaway 西尾一色店」「DCモール金剛坂」を売却の際には連結の売上高を計上することになりますが、売却のタイミングが見通せないことから、今後の業績予想には織り込みませんでした。しかし、2021年3月期（当期）第1四半期において連結SPCが保有していた1物件の売却が成就し（その結果8不動産となりました。）、及び8不動産のうち連結SPCが保有する不動産の一部分の売却が成就したことにより、売上高1,215百万円が発生致しましたので、通期の連結売上高予想を同額上方修正致しました。また、病院不動産のオフバランスは計画しません。

(2) 「2. 今期の業績予想及び今後の業績目標」

【修正前】

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益
2021年3月期 (予想)	<u>2,107</u>	150	2
2022年3月期 (目標)	2,931	1,017	923
2023年3月期 (目標)	3,885	1,798	1,704
2024年3月期 (目標)	4,513	2,271	2,177
2025年3月期 (目標)	5,151	2,817	2,722

【修正後】(修正箇所は下線を引いております)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益
2021年3月期 (予想)	<u>3,322</u>	150	2
2022年3月期 (目標)	2,931	1,017	923
2023年3月期 (目標)	3,885	1,798	1,704
2024年3月期 (目標)	4,513	2,271	2,177
2025年3月期 (目標)	5,151	2,817	2,722

以上